

## ■『防災まちづくりセミナー・意見交換会』を開催しました！

6月23日(木)、6月30日(木)、7月7日(木)、各町町内会長や防災部長、住民のみなさま総勢69名の方にご参加いただき、『防災まちづくりセミナー・意見交換会』を開催しました！

ご参加頂いたみなさま、ありがとうございました。

セミナー・意見交換会では、熊本地震の被害状況や京都市の耐震助成制度を確認し、「災害につよいまちをつくるために取り組むべきこと」や「目指す将来のまちのイメージ」などについて、町内ごとに意見交換を行いました。

今後も、すぐに取り組む具体的な対策を進めるとともに、頂いた多くのご意見・アイデア等を踏まえながら、地域のみなさんと一緒に「防災まちづくり」の取組を進めていきますので、引き続き、ご協力よろしくお願ひします！

熊本地震の被害状況や市の耐震助成制度を確認



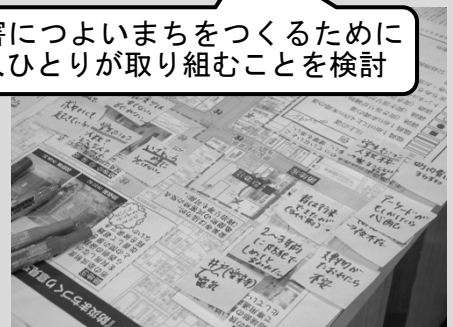
町内の現状や防災上の課題を再確認



災害につよいまちをつくるために一人ひとりが取り組むことを検討



目指す将来のまちのイメージについて意見交換



### 主なご感想

- ・防災について考える良い機会になった。
- ・自分の町内や近隣の町内の状況が把握できた。
- ・他町内の方とも交流ができ、コミュニケーションが深まった。
- ・定期的にこうした取組を開催してほしい。
- ・若い人にも参加してほしい。
- ・防災対策の具体的な支援制度が知りたい。

### 主な「防災まちづくり」のアイデア等

- ・建物の耐震化や不燃化を学区全体に広げる。
- ・トンネル路地が多いが、古い町家の良いところを残していきたい。
- ・道の適正管理についてルールをつくる。
- ・空き家対策も並行して取り組むと良い。
- ・避難場所に看板があると分かりやすい。
- ・日頃のコミュニケーションを大事にする。

# ■表札門の改修工事が完了しました！

ご協力頂いた関係者のみなさま、ありがとうございました。

平成28年9月、防災まちづくりの「すぐに取り組む具体的な対策」の一環として、泰童町で進めていた袋路入口に立つ表札門の改修工事が完了しました。

この取組は、平成27年度に取り組んだ「防災まちあるき」やその後の「防災まちづくりに関する意見交換会」でのご意見等をきっかけに、関係者のみなさんのご協力のもと、進めてきたものです。

新しくなった表札門は、老朽化した部分を補強するだけでなく、京町家が建ち並ぶ一条通り沿いということもあり、町並みに溶け込むように配慮して改修されました。

今後も、地域のみなさんと一緒に、「防災まちづくり」の取組を進めていきますので、引き続き、ご協力よろしくお願いたします！

改修前 (H27.6)



柱の基礎部分が老朽化

この制度を活用して表札門の改修ができました。

**袋路等始端部整備事業**

内容：袋路等の入口部において、袋路等の避難安全性を向上させるための工事に要する工事

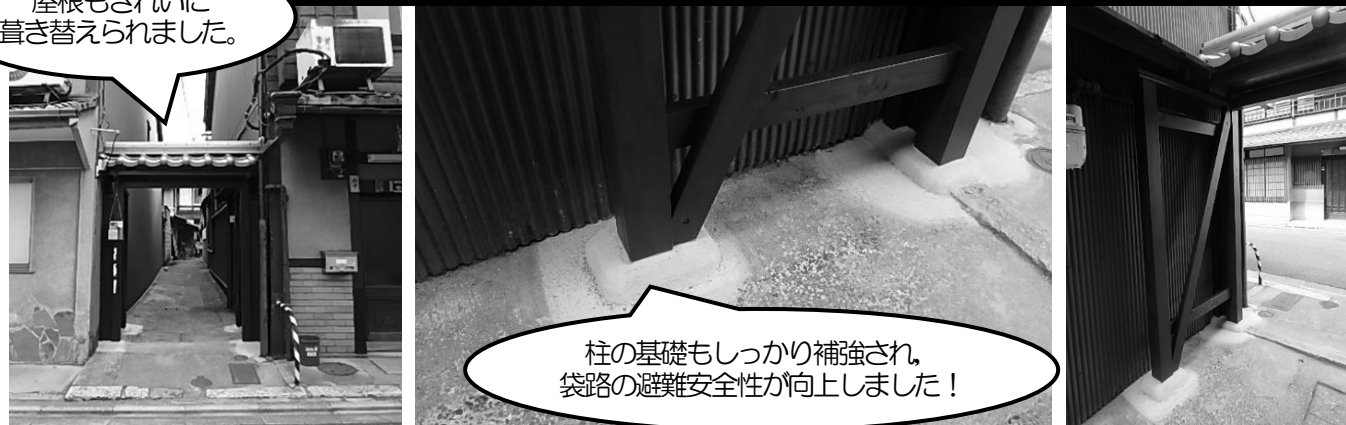
助成額：上限50万円（全額補助）

問合せ先：京都市まち再生・創造推進室  
(密集市街地・細街路対策担当)

電話：222-3503

改修後 (H28.9)

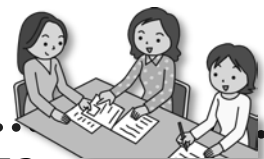
屋根もきれいに葺き替えられました。



柱の基礎もしっかり補強され、袋路の避難安全性が向上しました！

## ■今後も積極的に「防災まちづくり」を進めます！

今後も、引き続き、袋路の2方向避難経路の確保などの「すぐに取り組む具体的な対策」に取り組むとともに、『セミナー・意見交換会』等でお聞きした住民みなさんの想いを反映しながら、『防災まちづくり計画』づくりに取り組みますので、今後ともご協力をお願いします。



**防災まちづくり計画って？**

『防災まちづくり計画』とは、災害の被害から人命と財産を守るために、継続して「防災まちづくり」に取り組む考え方や具体的な取組等を取りまとめるものです。